

平和のつどい



杉並区

平和展

令和7年 **3/4火** - **14金** 8日^土、9日^日は除く

杉並区役所2階 区民ギャラリー 8時30分～17時(最終日は16時まで)

●戦後80年 東京大空襲 ～身近にあった空襲被害

未曾有の被害をもたらした東京大空襲から80年
区内の被災状況も併せ、パネル展示などを通して苛烈な空襲の実態をお伝えします。

●令和6年度 平和のためのポスターコンクール 入賞作品展示

杉並区平和都市宣言

世界の恒久平和は、
人類共通の願いである。
いま、私たちの手にある
平和ゆえの幸せを永遠に希求し、
次の世代に伝えよう。
ここに杉並区は、
核兵器のなくなることを願い、
平和都市を宣言する。

昭和六十三年三月三十日
杉並区

平和を願うロビーコンサート

令和7年 **3/10月**

杉並区役所1階ロビー 12時10分～12時50分

【出演】日本フィルハーモニー交響楽団
(編成/弦楽四重奏)
【座席定員】78名
(無料・先着順・当日直接会場へ)



平和のつどい



戦後80年 東京大空襲 ～身近にあった空襲被害

今から80年前の昭和20(1945)年3月10日未明、東京・下町に対してアメリカ軍のB-29爆撃機による大量の焼夷弾を投下する空襲“東京大空襲”が行われました。下町の大部分は焦土と化し、一夜にして10万人もの尊い命が奪われました。杉並区でも昭和19(1944)年11月から翌年の8月まで計18回の空襲がありました。

昭和19(1944)年12月には、天沼陸橋が爆弾で破壊され、高井戸第四国民学校が全焼するなど、身近な施設も大きな被害を受けました。今回の平和展では、東京大空襲の被害の状況に加え、区内の被災状況や、「最後の空襲(終戦の日の空襲)」と呼ばれる熊谷空襲の被害を、パネル展示などでお伝えします。



東京大空襲

東京大空襲・戦災資料センターから借用した写真パネルなどを展示し、東京大空襲の被害の甚大さ・深刻さをお伝えします。



杉並区内の被害

戦後70年時作成の「区民の戦争戦災証言記録集」を基にした説明パネルなどで、区内の空襲の被害をお伝えします。
(高井戸第四国民学校の空襲被害 写真提供：杉並区立郷土博物館)



熊谷空襲

佐藤虹二撮影「近藤油屋倉庫の壁」(写真提供：熊谷市立図書館)

昭和20年(1945)年8月14日の夜、最後の空襲を終戦前夜に受けた熊谷市の惨劇を写真パネルやDVDアニメなどでお伝えします。

主催・問合せ先 杉並区 区民生活部管理課
杉並区阿佐谷南1-15-1 TEL.03-3312-2111(代表)

協力

東京都生活文化スポーツ局、
公益財団法人政治経済研究所付属 東京大空襲・戦災資料センター、
埼玉ピースミュージアム(埼玉県平和資料館)、熊谷市立熊谷図書館

ACCESS

- ・ JR中央線「阿佐ヶ谷駅」南口から徒歩7分
- ・ 東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」徒歩1分

